

総務・人事・広報担当理事

木谷 雅人



私は、総務・人事・広報担当を基本として、特命事項として、事務総合調整、労務、電子事務局、事務改革、リスク対応、社会連携・渉外及び全学同窓会を担当しています。以下に、これらを事務改革、人事制度改革、広報活動及びリスク・マネジメントの4点に整理して報告します。

■事務改革

事務改革については、前任の本間政雄理事に平成18年4月までに基本的な道筋をつけていただきました。すなわち、本部組織を教育研究推進本部と経営企画本部に分けて、それぞれの組織ミッションを明確にした組織再編を図るとともに、各種のセンターの設置、グループ化・フラット化の導入などにより、事務の簡素化・合理化・効率化とサービスの向上を実現しようとするものです。

私は、この改革の趣旨の周知を図るための学内広報誌において、事務改革の究極の目標は、各職員が大学全体や各組織のミッションを自覚し、自ら主体的・創造的に目標を立てて実行していく風土を確立することであり、これからは実際の現場における改革の実質化が重要であることを強調しました。

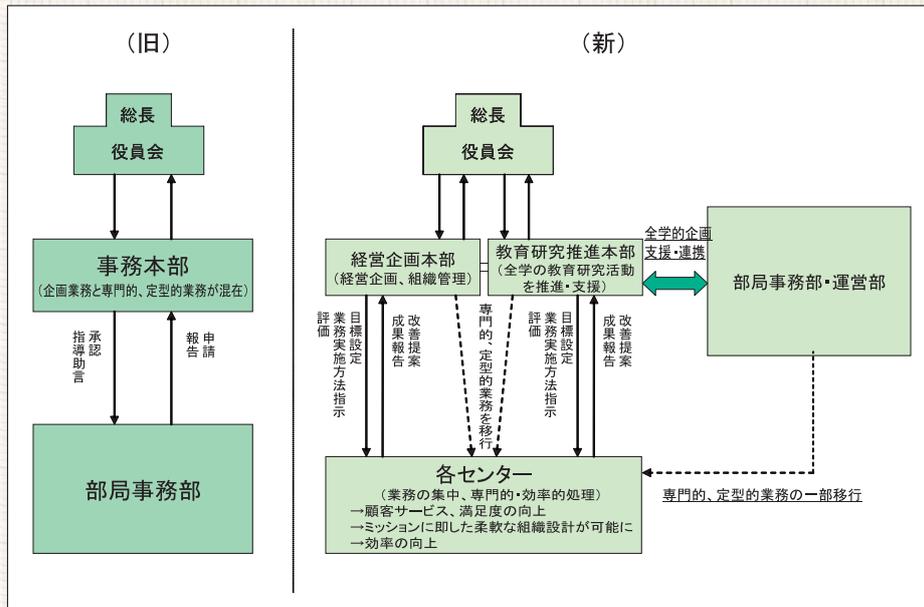
このため各部局の幹部職員によるワーキング・グループで今後の改革のマスタープランを作成してもらい、またホームページ上に各種の提案等を受け付ける意見箱を設置しました。さらに、若手職員による提案の役員等に対する報告会や職員を対象とした京都大学の歴史に関する



教育研究推進本部・経営企画本部設置
本部棟玄関前（右から木谷雅人理事、尾池和夫
総長、小松悌厚総務部長）

人事・広報

組織再編イメージ



る連続講演会の開催などの主体的な取組を支援しました。

また、特に全学的に業務量の多い分野についての業務分析や各種のセンターの利用者に対するアンケート調査などを実施して、更なる改革の参考にすることとしています。

事務改革については、今後とも、各部や部局間の連携によるプロジェクト・チームを設けるなどして、改革の実質化を図る活動をより強力に進めていきたいと考えています。

■人事制度改革

人事制度改革は、事務改革と車の両輪であるとの考え方に立って推進しています。

昨年来試行的に導入している目標管理は、各レベルの職員による組織ミッションを踏まえた主体的な目標の設定、管理及び遂行を、上司・部下間のコミュニケーションを図りつつ促していくものであり、事務改革の目的そのものにつながるものです。また、勤務評定

についても、基準や手続を明確化し透明性を高める制度改正を行い、単に結果を人事上の資料とするのではなく、目標管理とも関連させながら、本人と評価者のフィードバックを含む評定の過程を通じて個々の職員の資質・能力の向上を促していくこととしています。

そのほか、多様な人材の登用を可能にする年俸制を含む柔軟な雇用形態の導入、豊富な知識・経験を生かす高齢者再雇用制度の導入などを行いました。

こうした制度改正に加え、毎年的人事異動基本方針の策定とホームページ上での公表や労働時間の短縮と超過勤務縮減の取組などを進めています。

さらに、大学を取り巻く環境の変化の中で、これからの大学職員に必要な資質・能力や専門性を向上させるための研修の充実を図っており、特に事務改革で導入されたグループのリーダーであるグループ長を対象とした討議・演習形式の宿泊研修という新たな試みを

行いました。今後とも主体的な参画を前提とする実践的な研修の充実を図るとともに、職員の発意による自己啓発活動の支援を進めていきたいと考えています。

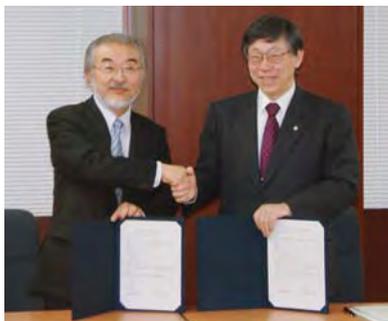
■ 広報活動

広報活動は、大学の説明責任を果たすことはもとより、大学から各方面のいわゆるステークホルダーに対して積極的に情報発信を行い、大学に対する理解と支援のネットワークを作っていくという観点から極めて重要な役割を担っています。したがって、各種の社会連携活動や同窓会も含めて幅広くとらえ、その推進を図っています。

まず、既存のホームページや広報誌の充実のほか、メールマガジンの発刊、各理事の取組を紹介する年次報告書の発行(本誌が二号目になります)を行いました。



事務職員向け連続講義の様子



早稲田大学と連携協力の基本協定を締結

共同ブランドビール
「ホワイトナイル」



時計台に研究所センター広報ディスプレイを設置

また、昨年11月には、本学の全学同窓会組織として京都大学同窓会を設立、同時に第1回ホームカミングデイも実施しました。今後大学からの継続的な情報提供やコミュニケーションを充実するとともに、各地域等の同窓会や同窓生相互のネットワーク形成を積極的に支援していきたいと考えています。

同じく昨年11月、東京において、京都大学の現状を国、経済界、学術関係機関など広く各方面の方々に紹介する京都大学・東京フォーラムを開催しました。

引き続き、これらの幅広い広報活動を積極的に展開させていきたいと考えています。



■リスク・マネジメント

大学には、教育、研究、財務、人事等の様々な分野において極めて多様なリスクが存在しますが、これらを洗い出してその大学に与える影響や発生頻度などからリスクを整理する作業を進めるとともに、地震、火災など教職員や学生の生命・身体及び大学の財産に重大な被害を及ぼす事態に備えて、その予防や発生した場合の対応のガイドラインとして京都大学災害等危機管理対応指針を定め、引き続き各部局における危機管理計画やマニュアル作成等を進めていくこととしています。



第3回京都大学東京フォーラムの様子

◎京都大学同窓会

京都大学においては、各部局等の同窓会との連携協力により、全学の同窓会組織として「京都大学同窓会」設立の運びとなった。

京都大学同窓会は、学部・研究科等の同窓会をはじめ、地域同窓会やクラブの同窓会、また、同窓会のない部局の卒業生や教職員のOBの方も加入できる全学のゆるやかな連携組織である。

学外の同窓生に京都大学における教育研究の活動の現状をお知らせし、会員相互の交流と親睦を図るため京都大学同窓会設立総会・ホームカミングデイを開催した。

また、地域の同窓会総会や同窓会設立に際して役員、出席者を派遣するなど協力を行った。

- ・京都大学ホームカミングデイ（施設見学）及び京都大学同窓会設立総会（於：百周年時計台記念館）
日 時 平成18年11月3日（金・祝）
- ・京大土佐吉田会総会（於：高知サンライズホテル）
日 時 平成18年7月6日（木）
出席者 尾池和夫 総長
- ・岐阜京都大学同窓会（楽友会）（於：岐阜グランドホテル）
日 時 平成18年7月8日（土）
出席者 木谷雅人 理事・副学長

- ・京都大学愛媛同窓会設立期成講演会（於：松山全日空ホテル）
日 時 平成18年9月30日（土）
出席者 尾池和夫 総長、北 徹 理事・副学長、木谷雅人 理事・副学長
 - ・広島京大会総会（於：メルパルク広島）
日 時 平成18年11月18日（土）
出席者 尾池和夫 総長、大学文書館 西山 伸 助教授
 - ・大阪京大クラブ新年祝賀会（於：中央電気倶楽部）
日 時 平成19年1月10日（水）
出席者 尾池和夫 総長、木谷雅人 理事・副学長
- ※この他、5月、7月、9月、11月、3月に開催される大阪京大クラブの例会に出席。

